

試験日 ： 2025 年 11 月 8 日（土）
入試種別 ： 外国人留学入学試験(4 月入学)正規留学生 修士課程
学部・研究科： 文学研究科 仏教学専攻
科目名 ： 専門科目

解答又は解答例

【問 1】は、3 つの「仏教教義（諸行無常・中道・三学（戒・定・慧））」の中から一つを選び、解説することを求めた問題である。

選択問題であるので、個別の合格基準を示す。

「諸行無常」は、三（四）法印のひとつで、重要な仏教用語であり、すべての作られたものが恒常性を有せず、変化する存在であるという概要が書かれてあれば良い。

「中道」は、仏教の開祖釈尊の最初の説法（初転法輪）とも関係し、快樂と苦行の両者を否定するあり方であることや、後の大乘仏教の教説の概要が書かれてあれば良い。

「三学」は、戒・定・慧それぞれについて、具体的語義説明がなされ、他の主要な修行道との関連等の概要が書かれてあれば良い。

【問 2】は、3 人の「仏教者（アーナンダ・玄奘・聖徳太子）」の中から一人を選び、解説することを求めた問題である。

選択問題であるので、個別の合格基準を示す。

「アーナンダ」は、インドにおける釈尊の仏弟子の一人で、多聞第一と呼ばれ、第一結集時の經典成立にかかわった人物であること等の概要が書かれてあれば良い。

「玄奘」は、その活躍年代、三蔵法師と呼ばれた訳経僧としての意義や西域探検、翻訳の特徴、具体的な翻訳仏典等の概要が書かれてあれば良い。

「聖徳太子」は、その活躍年代、仏教史上の位置づけ、十七条の憲法や三經義疏の内容、あるいはその後の日本における太子信仰の様相等の概要が書かれてあれば良い。

【問 3】は、3 点の「仏典（『阿含經』・『般若心經』・『往生要集』）」の中から一つを選び、解説することを求めた問題である。

選択問題であるので、個別の合格基準を示す。

『阿含経』は、パーリ語で書かれたテキストや漢訳との対照、具体的な構成、仏典としての特徴や意義等の概要が書かれてあれば良い。

『般若心経』は、大乘仏典、特に般若経類中の位置づけ、各種言語・異訳等のテキストの問題、思想内容等の概要が書かれてあれば良い。

『往生要集』は、日本仏教、特に浄土教の中での意義と性格、著述目的、文献の構成・思想、その後の歴史的展開等の概要が書かれてあれば良い。